

2019年度 受賞作品集

今、あなたに贈りたい

漢字コンテスト

ほんの二文字に、
ぎゅつと気持ちを込めて



大切なあなたへ

ほんの一文に、「ぎゅっと」気持ちを込めて

「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」とは

家族や恋人、友人や恩人、そして自分自身にあてて…

日頃は言えない素直な気持ちを、漢字一字に託して贈ってみよう。

(公財)日本漢字能力検定協会では、このような趣旨で「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」を2013年に初めて開催しました。以来毎年開催を経て今回で7回目を迎え、累計では約24万作品のご応募を全国よりいただいています。

“誰かに贈る漢字を選ぶ”その時間は、自分自身や周囲の人々を見つめ直し、自分の素直な気持ちと向き合うことにつながります。そうして贈った・贈られた「漢字一字」は、かけがえのない一字として心に刻まれるでしょう。

＼ 詳しくは WEB でもご覧になれます! ／

漢検 漢字コンテスト

検索



審査員

審査員長

橋本五郎（読売新聞特別編集委員）

審査員

ゴルゴ松本（お笑い芸人）

やすみりえ（川柳作家）

華雪（書家）

高坂節三（公益財団法人日本漢字能力検定協会 代表理事）

※所属はコンテスト開催当時のものです。



当協会は、「日本語・漢字を学ぶ楽しさを提供し、豊かな社会の実現に貢献する」ことを目的に、「日本漢字能力検定（漢検）」をはじめとした検定事業や研究活動、また京都・清水寺で年末に行う「今年の漢字」や八坂神社前での「漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）」の運営といった啓発活動などを行っております。

本コンテストは、「漢字一字で気持ちを伝える」ことを通して、漢字への

興味を喚起するとともに、人と人をつなぐ言葉の大切さを実感していただく機会として2013年より実施しており、おかげさまで7回目を迎えることができました。今回の応募総数は46,382作品と過去最多を記録し、初回からの累計では約24万作品が全国から寄せられています。

学校教育にご活用くださった先生からは、「漢字への興味が増して、漢字のもつ意味を考えるようになった」と

いった学習効果のほか、「普段は意識

ください。

していない、伝えられない人・物への感

謝を伝えるきっかけになった」などの

なお、2020年度も8回目として

お声もいただき、大変嬉しく思うと

本コンテストを開催いたしますので、

ともに、これほど多くの方々の本コン

この作品集を手に取りられた皆様にお

テストの趣旨にご賛同くださっている

かれましても、ぜひともご参加賜られ

ことに深く感謝しております。

ば幸いです。

この作品集には、計60の受賞作品

を掲載しています。受賞者の皆様の

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

思いがこもった、印象深く素敵な「漢

代表理事 高坂節三

字一字」とメッセージをどうぞご覧

今回の応募は4万6000件を超えました。前年と比べ1万5000件も増えました。学校や塾などが積極的に参加して下さいからです。漢字の意味を考え、その漢字に思いを託し、愛する人に捧げてほしいという私たちの願いが広く理解されていると大いに意を強くしました。今回も秀作が多く、順位を付けるのに迷ってしまいました。中でも、小学生部門の水準の高さに驚きました。なぜだろう

と考えました。私の推測ですが、決して構えることなく、素直に自分や周囲を見つめ、その思いを素直に表現しているからではないのかと思うのです。文章を書くのが職業の私にとってもとても勉強になりました。

審査員長 橋本五郎

(読売新聞特別編集委員)

小学生部門受賞者

【絆大賞】

森本 碧咲さん…………… P12

(兵庫県・加東市立東条東小学校 9歳)

【日本漢字能力検定協会賞】

瀬田 夕凧さん…………… P14

(神奈川県・湘南白百合学園小学校 12歳)

【審査員賞】

伊澤 友生杜さん…………… P16

(香川県・香川大学教育学部附属高松小学校 9歳)

北川 匠さん…………… P18

(徳島県・美馬市立脇町小学校 11歳)

鈴木 詩乃さん…………… P20

(群馬県・板倉町立東小学校 12歳)

【佳作】

稲盛 智人さん…………… P22

(鹿児島県・池田学園池田小学校 8歳)

梅津 優太さん…………… P22

(埼玉県・桶川市立朝日小学校 12歳)

小田 菜々美さん…………… P22

(千葉県・松戸市立横須賀小学校 11歳)

※掲載の都道府県、学校名、年齢、職業は応募当時のものです。
 ※基本的には応募作品の原文をそのまま掲載しておりますが、一部修正を加えている箇所がございます。ご了承ください。

中学生・高校生部門受賞者

加藤里埜さん……………P23

(神奈川県・洗足学園小学校 10歳)

加藤瑠辰さん……………P23

(秋田県・男鹿市立脇本第一小学校 9歳)

葛岡慶巨さん……………P23

(千葉県・千葉市立あすみが丘小学校 11歳)

杉本賢太郎さん……………P24

(石川県・金沢市立小坂小学校 8歳)

丸山莉歩さん……………P24

(愛知県・蒲郡市立竹島小学校 7歳)

三宮司さん……………P24

(大阪府・大阪府立島屋小学校 11歳)

山崎理子さん……………P25

(福岡県・海樹塾 10歳)

【絆大賞】

葉真寺空さん……………P28

(大分県・大分大学教育学部附属中学校 13歳)

問註所茉奈さん……………P30

(広島県・山陽女学園高等学校 17歳)

【日本漢字能力検定協会賞】

本田智久さん……………P32

(群馬県・前橋市立三元総社中学校 14歳)

山田紀花さん……………P34

(長野県・長野県松本美須ヶヶ丘高等学校 17歳)

【審査員賞】

西村実咲さん……………P36

(大阪府・大阪市立天満中学校 13歳)

中村朋睦さん……………P38

(東京都・有限会社私塾多摩ロベルト 14歳)

久保このみさん……………P40

(東京都・大田区立員塚中学校 15歳)

増田萌果さん……………P42

(静岡県・静岡県立掛川西高等学校 15歳)

高垣睦さん……………P44

(徳島県・生光学園高等学校 17歳)

赤木瞳美さん……………P46

(千葉県・千葉敬愛高等学校 18歳)

【佳作】

片岡愛結さん……………P48

(福岡県・春日市立春日東中学校 12歳)

熊野華寿巳さん……………P48

(山口県・宇部市立厚南中学校 14歳)

小林佳恋さん……………P48

(東京都・武蔵野市立第一中学校 15歳)

齋藤眞江さん……………P49

(宮城県・宮城県仙台二華中学校 14歳)

佐々木美玲さん……………P49

(宮城県・宮城県仙台二華中学校 14歳)

末本莉菜さん……………P49

(広島県・広島市立翠町中学校 15歳)

鈴木惺太さん……………P50

(東京都・大田区立員塚中学校 14歳)

十河愛寧さん……………P50

(群馬県・太田市立太田中学校 13歳)

平尾優弥さん……………P50

(北海道・せたな町立北檜山中学校 12歳)

大学生・一般部門受賞者

馬込 日和 さん…………… P51

(和歌山県・白浜町立白浜中学校 14歳)

秋山 功太郎 さん…………… P51

(広島県・広陵学園広陵高等学校 17歳)

小崎 凧紗 さん…………… P51

(静岡県・静岡県立掛川西高等学校 15歳)

堅岡 周作 さん…………… P52

(山形県・山形県立鶴岡工業高等学校 18歳)

北村 愛茄 さん…………… P52

(鹿児島県・大口明光学園高等学校 17歳)

耕田 美桜 さん…………… P52

(岡山県・岡山県立高梁城南高等学校 16歳)

坂藤 結愛 さん…………… P53

(北海道・北海道旭川市明成高等学校 16歳)

中村 天音 さん…………… P53

(静岡県・第一学院高等学校浜松キャンパス 17歳)

平賀 未来 さん…………… P53

(岩手県・岩手県立花巻南高等学校 17歳)

福田 妃咲 さん…………… P54

(静岡県・静岡県立掛川西高等学校 15歳)

宮崎 佳菜子 さん…………… P54

(福岡県・福岡県立折尾高等学校 17歳)

【絆大賞】

山口 康介 さん…………… P56

(大阪府・会社員)

【日本漢字能力検定協会賞】

四方 孝 さん…………… P58

(神奈川県・会社員)

【審査員賞】

小杉 泰紀 さん…………… P60

(静岡県)

関 恵子 さん…………… P62

(長野県・学校図書館指導員)

渡邊 誠一 さん…………… P64

(福岡県・パート)

【佳作】

阿部 嘉夫 さん…………… P66

(茨城県・会社員)

井上 朝香 さん…………… P66

(教員)

梶野 かおり さん…………… P66

(愛知県・学校図書館司書)

川嶋 真由美 さん…………… P67

(滋賀県・教員)

小林 千恵子 さん…………… P67

(岐阜県・自営業)

小松崎 有美 さん…………… P67

(埼玉県・主婦)

谷本 良裕 さん…………… P68

(徳島県)

中村 実千代 さん…………… P68

(栃木県)

船浪 理史 さん…………… P68

(東京都・会社員)

見澤 禎夫 さん…………… P69

(埼玉県・会社員)

小学生部門受賞者

しょう

がく

せい

ぶ

もん

じゆ

しょう

しや

もり もと み さき
森 本 碧 咲 さん

ひょう こ けん か どう し り つ と う じ ょ う ひ が し し ょ う が つ こ う さい
(兵 庫 県 ・ 加 東 市 立 東 条 東 小 学 校 9 歳)

この漢字をあなたに贈ります。

湯

わたしは、毎日おばあちゃんとおふろに入っています。学校であつたことを、いろいろ聞いてくれます。だれにも話せないことも、おばあちゃんには話せます。みんなには、ないし、にしてくるので安心です。心も体もスッキリで、一番好きな時間です。ありがとうございます。

おばあちゃん



み
珀石 咲

より



受賞コメント



わたしの作品が絆大賞に選ばれたと聞いておどろきました。おばあちゃんに伝えると「上手に書けてるね。」とほめてくれてうれしかったです。

わたしは7人家族でくらしています。いつもにぎやかで楽しいけど、おばあちゃんといっしょに入るおふろタイムが一番おちついてホッとします。その日あったうれしかったことも、くやしかったことも全部書いてくれて、「また明日からもがんばるぞ！」という気持ちになります。

これからもこの大切な時間をつづけていこうと思います。

ありがとうございました。



審査員からのコメント



私には、碧咲ちゃんがおばあちゃんとお風呂でお話している光景がはつきりと見えます。湯気が立ちのぼるお風呂のなかで、碧咲ちゃんは今日あったことを次から次へと話します。おばあちゃんはとても興味ぶかそうに「そう、そんなことがあったの？」とうなずきます。ふたりはだんだん体がほてってきます。そして何よりも心が芯から温まってきます。碧咲ちゃん、すてきなおばあちゃんがいて幸せですね。でも、おばあちゃんの方がもっと幸せなひとときをかみしめていると思いますよ。

(橋本五郎)

せ た ゆう な
 瀬田 夕風 さん

かながわけん しょうなんしら ゆり がくえんしょうがっこう さい
 (神奈川県・湘南白百合学園 小学校 12歳)

祖	旅	少	氷	る	途	この漢字をあなたに贈ります。		祖
母	行	な	ま	か	中			母
の	に	か	し	か	も			
新	行	つ	た	大	ど			
し	く	た	。	切	れ			
い	時	祖	仕	な	だ	的	の	人
旅	間	母	事	の	け	な	だ	生
の	か	は	で	よ	楽	の	よ	母
始	出	70	忙	。	し	で	。	は
ま	来	歳	し	と	く	は	行	の
り	ま	に	く	話	や	な	き	よ
で	ま	退	休	し	り	く	先	く
す	した	職	日	て	と	旅	が	私
。	。	し	も	く	げ	の	目	に

祖 母

夕 風

より

受賞コメント

この度は日本漢字能力検定協会賞をいただき、ありがとうございます。

そして賞を頂いたことにより、表彰式の日この「旅」の言葉を贈った祖母と京都に旅行をして、表彰の姿を見てもらえることがとても嬉しいです。

わたしの人生の旅はまだ始まったばかりで、物語だつたらほんの数ページかもしれません、これからの旅でどんなことをして、どう楽しんで行くのか、道のりが楽しみです。

いつか振り返った時に、祖母が教えてくれたように、笑顔になれるそんな日々を送ろうと思います。

審査員からのコメント

貴女のおばあさんは70歳まで休日もないほど忙しく働いてこられたのです。きつと今までも忙しい毎日の中で70年間旅を続けて来られたのでしょうか。辛いこともあったでしょう。楽しいこともあったでしょう。その中で「人生は旅」であり、どれだけ楽しくやり遂げるかを日々考えて来られたと思います。まことに「人生は旅」なのです。いままで成し遂げられて来た過去を振り返りながら、これからの新しい旅を見守る「夕凧」さんの優しさに心を打たれました。ノーベル賞を受賞された湯川秀樹さんの書かれた「旅人」という本もあります。一度お読みになることをお勧めします。(高坂節三)

伊澤 友生杜さん

(香川県・香川大学 教育学部附属高松 小学校 9歳)

て	い	反	お	い	う	ケ		う	う	中	ぼ
ニ	っ	抗	こ	る	の	ケ	う	に	や	学	く
コ	ほ	期	こ	そ	ガ	天	は	は	ら	二	の
ニ	い	と	た	う	お	兄	は	お	母	年	お
コ	の	い	顔	で	兄	ち	、	母	さ	生	兄
笑	お	う	を	す	ち	や	反	抗	人	で	ち
顔	兄	ヤ	し	そ	ガ	は	抗	期	が	す	ャ
で	ち	ツ	て	の	ん	は	期	言	い	と	人
遊	ヤ	に	い	の	の	反	ソ	い	は		
び	ん	勝	ま	心	こ	抗	い				
た	に	っ	す	と	う	期					
い	も	マ	早	戦	た	ソ					
で	ど	笑	く	っ	た	い					
す	っ	顔	く	て	た						
		ん		て	た						

この漢字をあなたに贈ります。

お兄ちゃん



友生杜

受賞コメント

賞しょうをもらった事ことをとてもうれしく思おもいます。

そしてびっくりしました。でも、お兄にいちゃんに出品しゅっぴんしている事ことを言いっていなかったたので、ドキドキもしました。

おこるかなあ？と思おもいながら、お兄にいちゃんに話はなをしたら、とてもおどろいた顔かおをしたけれど、ニヤニヤしていました。そしてその後あと、みんなで大笑おおわらいしました。

笑わらった時ときにほくは、また笑わらいがふえたので、「笑わらう」という字じをえらんでよかったと思おもいました。

みんなが笑顔えがおになれるすてきな賞しょうをどうもありがとうございます。ございました。

審査員からのコメント

「反抗期はんこうきというのがお兄にいちゃんの心こころと戦たたかっている」。

何なんとすばらしい表現ひょうげんでしょう。それを教おしえたお母かあさんもすごいし、ちゃんと理解りかいした友生ゆきとくん杜君とくんもえらい。この言葉ことばには、必死ひつしに自分じぶんの心こころの中で戦たたかっているお兄にいちゃんを温あたかく包つつもうという、お母あはさんのやさしさがあります。

お兄にいちゃん思おもいの友生ゆきとくん杜君とくんの「お兄にいちゃん、がんばれ」という励はげましがあります。早はやくお兄にいちゃんの笑顔えがおが戻もどるといいですね。(橋本五郎はしもとごろう)

受賞コメント

このたびは、審査員賞に選んでいただきありがとうございます。ございました。

ぼくは、小学一年生の時からカブトムシをよう虫から育てています。いつもおじいちゃん畑の近くにたまごをうんでいるので、毎年さがしに行くのが楽しみです。ずっとお父さんといっしょにかい続けています。時には、何十匹もいたことがありました。しかし、成虫になるのはすごく少なく、命を結ぶことのむずかしさや大切さを学びました。

これからも、カブトムシだけでなく、地球上のさまざまな生き物たちが命を結んでいけたらいいなと思います。

審査員からのコメント

匠君はわずか11歳で、「哲学者」のようですね（笑）。むずかしい言い方をしますと、匠君はカブトの姿から、生きとし生けるものの、大切な「原理」を発見しています。そうなんです。かけがえのない家族があって、その集まりが町や村をつくり、そして国に繋がって、世界が成り立っているのです。「平和」がなぜ大切なのか。「戦争」は、匠君が言う「命を結ぶ」ことを立ちきってしまうからです。おじさんは匠君を選んだ「結」から、世界平和の大切さを教えられました。

（橋本五郎）

鈴木 詩乃さん

(群馬県・板倉町立東小学校 12歳)

この漢字をあなたに贈ります。

字

おばあちゃん

詩乃

「字」という字を

おばあちゃんに贈り

ます。

おばあちゃんには、

いつも私に「字」には一つ一つ意

味があるんだよ。と言って字を

一つ一つていねいに書いていた

ことを思い出します。

今度、会ったときはたくさん

字を覚えてきた事を報告したいです。

受賞コメント

今回は、こんなすてきな賞に選んでくださりありがとうございました。

小さい頃からずっと大好きだったおばあちゃんが、いつも口ぐせのように言っていたことを思い出して感謝の気持ちと一緒にこの文章を書きました。

いつも、言葉ではうまく伝えられないことも、文章にのせて思いを伝えられるこのコンテストはとてすてきだと思います。

このコンテストの賞に選ばれたことをおばあちゃんに伝えたときの、うれしそうなお顔で「ありがとう。」と言ってくれたのをうれしくて今でも覚えています。

本当に、こんなすてきな賞に選んでくださりありがとうございました。

審査員からのコメント

ここにもお孫さんとおばあちゃんの幸せな「カップル」がいます。「字にはひとつひとつ意味があるんだよ」というおばあちゃんの言葉はとても大事ですね。そして詩乃さんはそれを正面から正確に受け止めていますね。私は、おばあちゃんのことばには、こんな意味もこめられているのではないかと思うのです。「人はもちろん、動物も植物も、この世に存在しているものはすべて意味があるんだよ。だからみんな大切にしなければいけないんだよ」。ここには本当の「生きた教育」があります。

(橋本五郎)



【贈りたい相手】

ピアノ

【贈り主】

稲盛智人

稲盛 智人 さん
(鹿児島県・池田学園池田小学校 8歳)

ピアノは、木でできているそうですね。きつともとは大きな樹だったのでしょうか。どこの森にいたのかな。動物の仲間たちと、ときには雨や風にうたれたことでしょうか。ピアノになつて家にきて五十年たちましたね。ぼくは心をこめてやさしくていねいにひくからね。



【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

優太

梅津 優太 さん
(埼玉県・桶川市立朝日小学校 12歳)

お母さんは、今日は何を作ろうかと悩んでいますが、お弁当箱を開けるときの何が入っているのかなあとワクワクします。食べることが好きな私にはお弁当の時間は楽しみの時間でもあります。毎日、おいしいお弁当を作ってくれてありがとうございます。今日も完食です。



【贈りたい相手】

おばあちゃん

【贈り主】

菜々美

小田 菜々美 さん
(千葉県・松戸市立横須賀小学校 11歳)

いつも一人でさびしいと言っておばあちゃん。私は「菜」を送ります。理由は二つ。一つ目は、菜の花は小さな花がたくさん集まっているでしょ。おばあちゃんの周りにもたくさんさんの家族がついてるよ。だから一人じゃないよ。そして、「菜」は私の名前の漢字。ずっと一緒だよ。



【贈りたい相手】

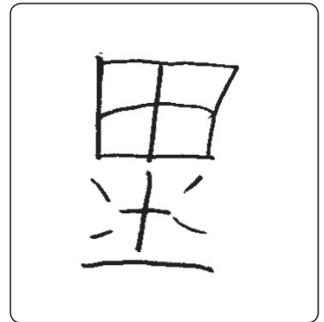
お父さん

【贈り主】

りの

加藤 里埜さん
(神奈川県・洗足学園小学校 10歳)

私はお父さんと一緒に旅行に行くと必ずなぜか雨です。せっかくアクティビティをやるうと思っても全くできません。そんなにお父さんは雨男なのかと悲しくなる時もあります。しかしお父さんとの思い出は雨のせいで決して忘れていません。でも雨はほどほどに。



【贈りたい相手】

お兄さん

【贈り主】

るい

加藤 留晟さん
(秋田県・男鹿市立脇本第一小学校 9歳)

いつもバッターボックスに立つと、ヒットを打って塁にでるお兄さん。ぼくは、「るい」って名前だけど、ぼくが塁にでるのは、フォアボールのときばかり。ぼくもお兄さんみたいにたくさんヒットを打って、たくさんるいにでれるせん手になるよ！



【贈りたい相手】

天国のおじいちゃん

【贈り主】

慶巨

葛岡 慶巨さん
(千葉県・千葉市立あすみが丘小学校 11歳)

お盆の送り火で、全然麻に火がつかず苦戦した。ご先祖様は送り火の煙に乗ってお墓にもどると聞いたことがある。僕はじいじがお墓にもどりたくなくて、いたすらしたかなと考えておかしかった。少して麻に火がつき、炎と煙があがった。じいじ、またね。



【贈りたい相手】

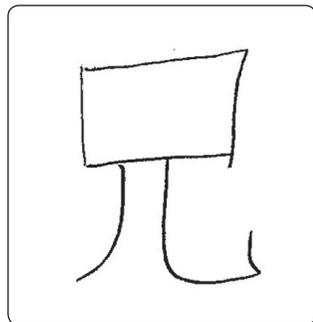
パパ

【贈り主】

賢太郎

杉本 賢太郎 さん
(石川県・金沢市立小坂小学校 8歳)

パパは毎晩、僕と妹の間で寝ています。パパは「川の字」というんだよって教えてくれました。でも、パパの身長が一番大きいから、本当は「小の字」だと僕は思っています。夜、まだ一人で寝るのは怖いから、もう少しこのまま一緒に寝てください。



【贈りたい相手】

いとこのたけるくん

【贈り主】

莉歩

丸山 莉歩 さん
(愛知県・蒲郡市立竹島小学校 7歳)

兄だいがほしいたけるくん。おとまりのとき、「ぼくのことお兄ちゃんってよんでよ。」となかなかねつけないときに言ってくれた。わたしもお兄ちゃんがほしかったんだ。「お兄ちゃん。」って小さいこえで言ってみた。



【贈りたい相手】

お父さん

【贈り主】

つかさ

三宮 司 さん
(大阪府・大阪市立島屋小学校 11歳)

僕が金曜日の夜遅くに習い事から帰って来た時、お父さんの大きな靴が玄関にあると、とても嬉しくなるよ。単身赴任はさみしいけれど、毎週末帰って来てくれてありがとう。お父さんの大きな靴が僕はとつてもとつても大好きです。来週も楽しみに待ってるね。



【贈りたい相手】

私

【贈りたい品】

私

山崎 理子 さん

(福岡県・海樹塾 10歳)

私は、けんかをすることがあります。弟とやっ
てしまったり友達を責めて、実際原因まで忘れて
しまうほどけんかをしてしまうのです。だから自
分を見つめ直せば原因、そしてわたしの悪い所を
見直してできると思ったのです。鏡の意味は見つめ
直しということです。



中學生・高校生部門受賞者

薬真寺 空さん

(大分県・大分大学教育学部附属中学校 13歳)

お母さん

この漢字をあなたに贈ります。

空

薬真寺 空

私が小さい時、自

分の名前の意味を調

べると、からっぽで

中身がないです。

くニョックだ。た。

帰って聞くと、「空っぽは悪い

事じゃないのよ。大切な事をつ

めて色とりどりにするの」とい

って聞いたよね。私も名前の通り

色とりどりの人生にしたいな。

受賞コメント

この度は「絆大賞」という素晴らしい賞に選出頂き、誠にありがとうございました。結果を母に報告したところ、とても驚くと同時に心から喜んでくれました。

私は勉強も運動も得意ではなく、毎日いろいろなことでつまづいています。自分の名前の通り、いろとりどりの人生にできるよう、毎日に小さなチャレンジをとり入れるよう心がけています。中学生になると小ささまざまな部活動、勉強などで忙しい日々に追われてしまいがちですが、その時しかできない体験、出会えた人たちと交わした言葉などを大切に、中につめ、人生を鮮やかに彩りたいです。

審査員からのコメント

ご自身の名前にまつわるエピソードが本当に素敵ですね。お母さんからの答えが、何よりも胸に響きました。

「大切な事をつめて欲しい」という願いだけではなく、そこに「色とりどり」という言葉も添えて、わが娘に夢や希望を存分に委ねてくれています。そんな母の想いを受け止めた空さんは、漢字一文字の魅力をしっかりと実感されている人だと思えます。どうぞこれからも、その感性を輝かせて歩いて行ってくださいね。

(やすみりえ)

問註所 茉奈さん

(広島県・山陽女学園高等部 17歳)

補聴器

この漢字をあなたに贈ります。

立
日

く
お
願
い
し
ま
す
。

な
存
在
で
す
。
こ
れ
か
ら
も
よ
ろ
し

あ
り
が
と
う
。
人
生
に
必
要
で
大
切

私
に
生
き
る
希
望
を
与
え
て
く
れ
て

音
を
調
節
し
続
け
て
大
変
だ
よ
ね
。

く
れ
て
い
ま
す
。
一
度
も
休
ま
ず
、

私
の
耳
に
音
を
届
け
て

就
寝
時
間
以
外
毎
日

十
四
年
目
に
な
り
ま
す

三
才
の
時
に
出
会
っ
て

どんぐり

受賞コメント

この度は素晴らしい賞を頂きありがとうございます。

受賞を知った時は大変驚きましたが、家族も皆喜んでくれました。「あなたに贈りたい漢字」というテーマで気持ちを伝えたい人を考えると補聴器が思い浮かびました。私は生まれた時から難聴で、毎日補聴器をつけています。聞こえない事で大変な事も沢山ありますが、補聴器のおかげで音の世界が広がり、前に進めています。

補聴器は私にとって音を届けてくれる大切な存在であることから、音という漢字を贈りました。これからもたくさんの音を届けてほしいです。

審査員からのコメント

漢字は三千数百年前の古代中国でつくられました。その成り立ちには古代中国に生きていた人々の眼差しを見て取ることができます。

「音」の漢字の成り立ちは、神に祈ることばを収めた器である「口」の上に、その祈りに偽りがあれば入れ墨の罰を受けるという心構えの証しの入れ墨用の針を立てた様子を描いているそうです。そして、ひとが祈りを捧げ、それに神が反応すると、夜中の静まったときに「口」の中でかすかな音を立てると考えられ、その音のひびきが「口」の中に「一」を書くことで示されました。古代の人々にとっての「音」は神聖で神秘的なものだったのかもしれない。

これまで十四年間、さまざまな音を届け続けてきている補聴器への茉奈さんの思いが詰まったエピソードは、古代の人々にとっての「音」の景色と重なるようでした。これからも茉奈さんの人生を益々豊かにする音を届けてくれるものであることを願って、絆大賞を贈ります。(華雪)

本田 智久さん

(群馬県・前橋市立元総社中学校 14歳)

この漢字をあなたに贈ります。

おじいちゃん



孫

力

は本当に力があつたと言つて
いた。おじいちゃんは石の仕事
をしていたのがあつたが本
当のすごさは優しさの力だつた。
そんな力のおかげでお墓参りに
来た人が全員泣いてくれた。

私のおじいちゃんは
今年天国へ行ってし
まった。お墓参りに
行くとき父が「祖父

受賞コメント

今回、日本漢字能力検定協会賞を受賞してとてもうれしく思います。自分自身もとても良い作品が書けたと思いましたがこのような賞が取れるとは思っていませんでした。今回受賞したことを家族や親戚に伝えたらとても喜んでくれました。きっと天国にいる祖父も喜んでくれると思います。

祖父が亡くなって約1年となります。祖父は、突然亡くなったのでしばらく私は、祖父の死を受け入れられませんでした。しかし、祖父が言っていた、「天国へ行ったらずっと見守っているから」という言葉を思い出して立ち直ることができました。この先いろいろな困難があると思いますが祖父のことを思い出して立ち向かいたいと思います。

審査員からのコメント

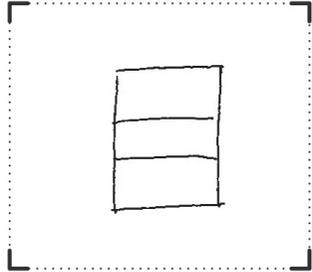
おじいさんは天国に旅立たれました。おじいさんの石の仕事とはどんな仕事であったのでしょうか。何もしゃべらない石、それに鑿を入れて彫刻をする、あるいは墓石を掘る、この石は何に向いているかを石に尋ねるおじいさん、石との対話や石に鑿を入れることは、他でもない、自分自身との対話であり、自らを信じての行動であったでしょう。長い間の石との対話はおじいさんを聖人にしてくれたことでしょう。おじいさんの本当のごさが優しさの力だと気づいてみんなが涙を流したのでしょうか。あなたにとつて誇らしいおじいさんでしたね。

(高坂節三)

山田 紀花さん

(長野県・長野県松本美須ヶ丘高等学校 17歳)

な	人	味	な	れ	父							
る	の	ど	世	た	は							
か	の	も	界	り	私							
ら	目	私	を	見	に							
ぬ	に	も	教	せ	色							
。	な	あ	え	こ	々							
期	れ	な	く	く	な							
待	る	た	れ	水	世							
し	素	の	た	ま	界							
こ	敵	よ	と	し	を							
い	な	う	ら	た	教							
こ	人	に	。	。	え							
ね	に	他	意	色	こ							
。		の		々	く							



この漢字をあなたに贈ります。

父

娘

献	父	光	私
眼	は	を	の
し	七	見	父
た	な	せ	は
か	っ	て	二
ら	た	い	人
ざ	際	ま	の
ろ	に	す	人
。		。	に

受賞コメント

まずは、受賞させて頂きありがとうございます。学校の授業で先生からこのお題を出された時に贈りたい相手はすぐ決まりました。この作品に書いたように父はもうこの世に居ません。

突然死であったため父の死に目に会えていなければ、当時少し反抗期でちゃんと仲良くできなかったことに後悔をしています。たった16年しか父と居れませんでした。しかしそのたった16年で父は私に色々な事を教えてくれました。雑学や一般常識、綺麗な景色や美味しい食べ物など父から学んだ沢山のことが今の私の基礎です。父に会いたくなつて突然泣いてしまう日はまだありますが、父のように強く自分を持つて生きたいです。また、母や姉にも沢山感謝しています。

お父さん、お母さん、お姉ちゃん、関わってくれる全ての方への感謝を忘れずこれからも一生懸命生きていきます。

審査員からのコメント

お父さんは献眼をされたのですね。私の母も献体をしました。亡くなつてもなにか人の役に立ちたいとの想いでしたね。人のために役に立ちたいと言う思いほど素晴らしいものはありません。見えにくくなった人、そして貴女の二人が新しい目で世界を見ることができました。お父さんのように他人の『目』になれる素敵なる人になることが、お父さんへの供養になるとともに、貴女が一段と成長するきっかけになりましたね。ありがとうございます（高坂節三）

西村 実咲さん

(大阪府・大阪市立天満中学校 13歳)

お母さん

この漢字をあなたに贈ります。

休

娘

私の家はシングルマザーでお母さんは休むことなくずっと働いています。ある日の朝、お母さんの顔をみると焼きたてのクリームパンみたいにパンパンに腫れていました。疲れているのに私達の為に働いています。娘からのお願いです。お母さん、少しは休んでな。

受賞コメント

審査員賞に選んでいただき本当に嬉しく思います。まさか自分の作品が入選するなんて…。想像することもなく日常生活を送っていました。

私は学校の国語の授業でこのコンテストに応募しました。私が見て思ったことをそのまま素直に書いたので、5分で完成しました。だから、入賞の通知が届いたときは驚きました。

作品にあるように私の母はシングルマザーです。シングルマザーの家庭であるということで、友達にいろいろな言われたこともありました。しかし、私は母のことを誇りに思っています。私の中で母はスターであり、人生の先輩でもあり苦しいときに手をさしのべてくれる。そんな人です。とても偉大です。私の友達が苦しんでいるときにも一緒に考えてくれます。そんな母のことを素直に表現した作品で受賞することができてよかったです。

この作品を通して「お母さん！お母さんの子供でホンマに良かったよ！いつもありがとう！」と伝えたいです。

審査員からのコメント

人が木陰に憩う様子を表しているという、この漢字。眺めていると確かにその風景がスツと浮かんできて面白いです。

また、この漢字には、「立派な“や”よろこび」という意味も含まれているとのこと、とても興味深く感じます。彼女にとって、シングルマザーとして頑張るお母さんの姿は頼もしく、そして時には心配にもなってしまうんですね。母を思いやる優しい気持ちひしひしと伝わってきました。（やすみりえ）

中村 朋睦 さん

(東京都・有限会社私塾多摩口ベルト 14歳)

生	中	じ	あ	こ	上	[炊]			日	こ	家	小
志	は	し	っ	寝	は	[漢字をあなたに贈ります。]			の	こ	か	学
れ	ほ	ょ	た。	こ	う	[母]			朝	ま	う	校
た	か	っ	希	い	イ	[母と炊]			た	た	飛	の
い	ほ	ほ	れ	た	ト	[炊]			た	の	出	頃
よ	か	か	こ	い	が	[炊]			た	は	し	'
'	だ	っ	こ	こ	転	[炊]			た	'	師	夜
あ	っ	た	い	こ	が	[炊]			た	の	中	中
り	た。	け	こ	こ	リ	[炊]			た	は	に	
が	あ	水	こ	こ	'	[炊]			た	'		
と	の	じ	こ	こ	探	[炊]			た	'		
う。	味	'	こ	こ	し	[炊]			た	'		
	一	心	こ	こ	疲	[炊]			た	'		
		の	こ	こ	れ	[炊]			た	'		

この漢字をあなたに贈ります。

母

中村 朋睦



受賞コメント



この作品は受験勉強の合間に書いたものだったので、まさか受賞出来るとは思っていませんでした。

修学旅行以降、京都を訪れる機会はなかなか無いだろうと思つてましたが、無料で招待していただき嬉しいです。作品にもありますが、僕は炊き込みご飯が大好きなので、京都でも炊き込みご飯を食べてから帰りたいと思います。

漢検協会のみなさまをはじめ、審査員の方々や家族みんなに感謝しています。この度はありがとうございますました。



審査員からのコメント



これまでの審査の中で、あまり出会うことのなかった、「炊」という漢字。家を飛び出したエピソードと併せて印象に残りました。

多くの人は「炊」から、温かなお料理のイメージを浮かべることでしょう。でも彼は違うのです。„冷めてしまった炊き込みご飯“に„ほかほか“を感じたのですから、母の愛は本当にすごいです。

どんなお説教より心に沁みたことでしょう。
(やすみりえ)

久保 このみさん

(東京都・大田区立貝塚中学校 15歳)

ま	旅	の	し	で	し	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> 方旅 </div>	この漢字をあなたに贈ります。
た	行	二	ま	素	た		
三	は	日	い	ゝ	。		
人	行	前	ま	気	私		
で	け	に	し	な	は		
旅	ま	と	た	い	最		
行	せ	く	。	能	後		
に	ん	な	と	度	と		
行	で	。	の	で	い		
を	し	こ	後	返	う		
た	た	し	母	事	言		
い	。	ま	は	を	葉		
で	で	い	は	し	が		
す	も	。	旅	こ	姉		

母



娘

行	祭	る	母
二	の	何	が
う	後	日	最
と	最	か	後
と	後	前	の
言	の	に	入
わ	旅	。	院
れ	行	。	を
ま	に	体	す
		育	

受賞コメント

今回、このような素敵な賞を受賞することができて、すごく嬉しいです。去年の春に母が「来年のオリンピック見に行こうね。そのときはもう高校生か！楽しみだな。大人になったらこのちゃんのお金でハワイに連れて行ってもらって、親孝行してもらおうかな。」といわれました。

母が最後の入院をした時、たくさんの方がお見舞いに来てくれました。その人達も、母に「また旅行に行こうね。」といってくれました。お医者さんに「今夜が山だ」と言われて、すごく泣きました。その後に、「ハワイにも北海道にも沖繩にも行きたかったね。」と、うわ言のように母に語りかけていました。その時、返事はなかったけれど、必死に生きようとしていました。結局は3人で旅行には行けなかったけれど、こうして今回母のおかげで父と京都に来ることができて本当によかったです。ありがとうございます。

審査員からのコメント

叶わなかった最後の旅行。「旅」というこの一文字に、娘さんからお母さんへのすべての想いを込めていらっしゃるのだと感じることができました。早すぎるお別れは、本当に悲しい。

„最後“という言葉が嫌で素っ気ない態度をしてしまったのは、お母さんが大好きだからこそ。それは伝わっていたと思うのです。

これからの人生、さまざまな場所へ旅をすることでしよう。きつと、お母さんはいつも見守ってくれていますね。（やすみりえ）

増田 萌果さん

(静岡県・静岡県立掛川西高等学校 15歳)

この漢字をあなたに贈ります。

お父さん



娘

膝

ま	つ	れ	す	注	場	[]				大	か	こ	よ
で	け	か	べ	射	所	膝	注	所	好	？	と	く	
も	て	ら	っ	の	で	の	の	し	き	私	を	膝	
、	す	は	膝	痛	した	上	痛	た	で	ほ	覚	の	
大	ず	膝	の	み	ち	で	も	ち	安	、	え	上	
切	じ	に	上	も	う	知	、	ち	心	膝	て	に	
な	し	も	で	、	ち	り	絵	、	で	の	い	の	
思	て	、	知	、	、	ま	本	膝	可	ま	ま	っ	
い	く	健	り	、	結	し	の	の	す	す	た	た	
出	だ	康	ま	、	び	た	乗	上					
て	さ	に	し	、	も	。こ	し	が					
す	い	も	た	、	も	。こ	す						
	い	気	。こ	、									
	の	を	。こ										

受賞コメント

今回は、このような賞をいただきありがとうございます。学校を通してコンテストに参加しましたが、自分の素直な気持ちを書き出し、家族との思い出を振り返る良い機会になりました。普段はあまり話さず、お互いわからない事も多くありますが、父に日頃の感謝を伝えることが出来たと思います。時が経つにつれ父との関係が変わっても、父への気持ちは変わりません。これからも、家族との思い出を大切に、良い関係を築いていきたいです。

このような、素晴らしい機会を与えてくれたこのコンテストや先生方には感謝をしています。

審査員からのコメント

「膝」の字の成り立ちをたどると、ひとが座って、その膝があらわれているかたちとなり、「漆」には漆を取るために、木を傷つけ、節くれたという意味があります。また「膝下」ということばは、中国古来から父母の膝もとという意味として用いられてきました。

漢字の成り立ちを知ると、萌果さんにとって大好きだった安心できる場所は、お父さんの生きて来られた時間が刻まれた場所でもあったのかもしれないね。

萌果さんとお父さんとの大切な思い出に審査員賞を贈ります。(華雪)

高垣 睦さん

(徳島県・生光学園高等学校 17歳)

よ	年	地	幼	っ	か	道				あ	歩	卒	お
り	間	よ	い	一	ら					り	い	業	母
短	歩	い	な	緒	と					が	て	式	さ
く	き	温	が	に	て					と	帰	の	ん
感	続	も	ら	帰	も					う	っ	あ	、
じ	け	り	、	っ	疲					。	て	と	小
ま	た	を	私	て	れ					義	く	一	学
し	通	感	は	み	た					足	れ	緒	校
た	学	じ	そ	た	で					だ	て	に	の
	路	ま	の	か	し								
	が	し	言	っ	っ								
	い	た	葉	た	う								
	っ	。	に	の	。								
	も	六	心	の	。								

この漢字をあなたに贈ります。

お母さん

十七歳の私



受賞コメント

「後から輝き出す思いもある」ということを実感するものでした。私の母は交通事故で右脚を失い普段は義足をつけて生活しています。

そして私の小学校の卒業式の日、なぜか母は自分の車を運転せずタクシーを利用して小学校までやって来ました。きつと車が混むからなんだろうなと思っただけなのに、気が留めなかつたのですが、卒業式が終わっていざ帰ろうとしたとき、母が「歩いて帰るよ」と言ったのです。

それは私にとって衝撃の一言でした。小学校から家まで徒歩約20分。義足の母には負担が大きいのでは？しかし母は終始笑顔で私が話す思い出話を聞いてくれました。そして「一緒に通学路歩いて楽しいわ。」と言ってくれたのです。当時の私からしても温かいと感じる時間でしたが、現在高校卒業を間近に控え過去を振り返ってみても、あの時間はよりいっそう輝きを増し今でも心に残っています。私はあの通学路、母と歩いた「道」はこの先も忘れることはありません。素敵なお出立を、そして、いつもありがとうございます。

審査員からのコメント

漢字が生まれた三千数百年前の古代中国では「道」には異族の霊や邪霊がいて、そこを通る人々に災いをもたらすと信じられていました。そんな道を行くときには、強い呪力を持つと考えられていた異族の首を手を持ち、邪霊を祓い清めながら進みました。その様子を描いたのが「道」の字の成り立ちです。

一見怖い成り立ちを持つ「道」の字ですが、わたしが見逃してはいけないと思うのは、未知の土地へ繋がる「道」に対する当時の人々の思いがそこから見えてくることです。「道」を安全に行くことへの祈りがそこにはあるように思います。

睦さんにとって、六年間歩き続け慣れた通学路を、お母さんの歩調でいっしょに歩くことで、きつとこれまで見えなかつた景色がたくさん目の前に現れたのではないのでしょうか。睦さんからお母さんへの思い、お母さんから睦さんへの思いが行き来する帰り道の心温まる情景に、審査員賞を贈ります。（華雪）

赤木 瞳美さん

(千葉県・千葉敬愛高等学校 18歳)

この漢字をあなたに贈ります。

お姉ちゃん

妹

偽

た	ん	字	の	を	時	好	う	な	姉
ま	な	は	為	す	姉	き	ら	ん	の
は	姉	は	と	る	は	な	と	だ	本
か	の	は	書	。	必	な	が	。	当
を	優	び	い	妹	ず	も	あ	ふ	の
抜	レ	ひ	て	の	好	の	る	と	気
い	こ	っ	偽	私	き	が	人	そ	持
て	を	た	と	に	じ	被	と	う	ち
い	尊	り	書	は	ゃ	っ	思	思	は
い	敬	だ	く	分	な	た			
ん	し	。	。	か	い				
だ	て	そ	こ	る	ふ				
よ	い	。	の	人	り				

受賞コメント

今回このような賞を受賞することができ、とても光栄です。

私は作品の贈り先である姉のことを心から尊敬しています。

その反面、人に優しく思いやりがあつて、多くの人から愛される姉のことを羨ましいと思ってしまうこともあります。私には何も無いや、と感じることもありましたが、姉のそんなところに気付けたということで、私のことも「優しい姉妹ですね」と評価して下さいたことが私にとって自信に繋がりました。時々頑張りすぎてしまう姉の力に私はなれているでしょうか。少しでも力になれていたら嬉しいですが、ほんの少し照れくさくて聞けません。お互いが、お互いの為に助け合える関係になれたら良いな。このコンテストを通じて改めてそう考えることができる良いきっかけになりました。

審査員からのコメント

古代中国で生まれた漢字は、当時の意味から変遷を重ね、今に伝わるものも少なくありません。現在、「偽」(ニセ)と読まれる字は、元来、変化して他のものになるという意味だったそうです。

目の前のふるまいが、そのひとの本当の気持ちかどうかはなかなかわからないものです。瞳美さんは、日常をともに過ごされているお姉さんとの普段のやりとりを通じて、「偽」の字の中に〈人の為〉を見つけられました。そんな瞳美さんの視点もまた優しさに満ちているように感じられるエピソードでした。

二人の優しい姉妹に審査員賞を贈りたいと思います。

(華雪)

佳作

片岡 愛結 さん

(福岡県・春日市立春日東中学校 12歳)



【贈りたい相手】

ピアノ

【贈り主】

片岡愛結

4才からはじめたピアノ。イライラしている時、気分転換したい時、気合いを入れたい時、悩んでいる時にピアノをひくと気持ちが入ります。いつも私を調律してくれてありがとう。これからもよろしくね。

熊野 華寿巳 さん

(山口県・宇部市立厚南中学校 14歳)



【贈りたい相手】

母さん

【贈り主】

華寿巳

ぼくが小学校のころ母の日に肩もみ券をあげました。この前母さんの財布から落ちてきた紙が六年前にあげた、肩もみ券でした。それを見て一瞬で見えなくなるほど涙がこみ上げてきました。六年前の気持ちに戻って仕事で疲れた体を癒してあげたいです。

小林 佳恋 さん

(東京都・武蔵野市立第一中学校 15歳)



【贈りたい相手】

今は亡きひいばあちゃん

【贈り主】

ひ孫

ひいばあちゃんは知っていますか。私の本当の名前。私は「かれん」です。「かな」でも「か」でもありません。会うたびに变化する名前を少し楽しんでいました。今では誰一人名前を呼び間違えてくれません。もう一度、会えた時には何て呼んでくれますか。



【贈りたい相手】

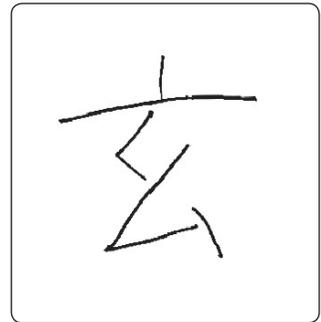
ももえ(妹)

【贈り主】

眞江

齋藤 眞江さん
(宮城県・宮城県仙台二華中学校 14歳)

ももえが小二で書いた「なしたろう」、お姉ちゃんが所持しています。あのころは「桃太郎」ってばかにされてばかりだったから、「なし江」になりたかったんだね。おばあちゃんもなし、育ててるもんね。でもお姉ちゃんは桃もももえも大好きだよー。



【贈りたい相手】

お父さん

【贈り主】

美玲

佐々木 美玲さん
(宮城県・宮城県仙台三華中学校 14歳)

私の家の玄関のガラスは割れています。引越してすぐの小学三年生で私が割りました。本当にごめんなさい。泣いて謝っていた私にお父さんは笑顔で「おまえの印だな」と言ってくれました。玄関を通るとき、いつも温かくなります。大人になったら絶対直すね。



【贈りたい相手】

お父さん

【贈り主】

莉菜

末本 莉菜さん
(広島県・広島市立翠町中学校 15歳)

昔不真面目だった父に勉強しろと言われるのは嫌いでした。でも父は、高校は自分で働いたお金で料理学校に通い、休まず店をしていると知った時、間違っていたなと思いました。だから、私ももっと努力する人になりたいです。お父さん、また美味しい料理作ってね。

佳作



【贈りたい相手】

友達Aくん

【贈り主】

鈴木惺太

鈴木 惺太 さん
(東京都・大田区立貝塚中学校 14歳)

最近心から笑えていますか。楽しく人生を過ごせていますか。ぼくには様子を見ている限り、そんな風には思えません。そんなあなたにいつでも遊べる券をあげます。いつでも相談したくなったら、この券を使ってください。有効期限、使用回数は無限です。



【贈りたい相手】

祖父

【贈り主】

愛寧

十河 愛寧 さん
(群馬県・太田市立太田中学校 13歳)

いつも笑顔で見守ってくれてありがとう。祖父には「穩」という漢字を贈ります。穩やかには人に受け入れられやすいという意味もあります。みんなから愛される祖父の笑顔の魔法は唯一無二。将来、私もその魔法使えるようになりたいな。こっそり秘密を教えてください。



【贈りたい相手】

お父さん

【贈り主】

優弥

平尾 優弥 さん
(北海道・せたな町立北檜山中学校 12歳)

ぼくの、お父さんはタバコが好きなので病気になるのが心配です。ぼくのお母さんは、ぼくが小さいときに病気で亡なってしまったからです。それからぼくは、だれかが亡なるのがすごくいやになったので、ぼくは、お父さんにタバコをやめてほしいです。



【贈りたい相手】

天国の愛猫

【贈り主】

日和

馬込 日和さん
(和歌山県・白浜町立白浜中学校 14歳)

今、幸せなことを願った言葉です。幸という漢字と迷いましたが、外をながめることが好きだったあなたにはこっちがピッタリだと思いました。大好きだったあなたが去ったのは雨の日でしたが、今あなたがいるところには晴れてきれいな虹がかかっているとうれしいな。



【贈りたい相手】

おじいちゃん

【贈り主】

孫

秋山 功太郎さん
(広島県・広陵学園広陵高等学校 17歳)

小学生から中学生までの9年間毎日常家の庭で野球の練習に付き合ってくれたおじいちゃん。ボールが当たってケガをしても翌日には防具を付けて孫のためにと体を張ってくれたね。甲子園での選手宣誓、あれはおじいちゃんへの感謝の気持ちです。ありがとう。



【贈りたい相手】

母

【贈り主】

凧紗

小崎 凧紗さん
(静岡県・静岡県立掛川西高等学校 15歳)

最近、父と一緒に毎食後にコーヒーを飲んでますね。挽いた豆にお湯を注ぐと、隣にいる私のところまで匂いが漂ってきます。まだ子供ながら私はコーヒーが飲めません。でもコーヒーの匂いはとても安心します。昔からコーヒーが好きな母の匂いがするからです。

佳作



【贈りたい相手】

弟達

【贈り主】

周作

堅岡 周作さん

(山形県・山形県立鶴岡工業高等学校 18歳)

三つ子なのに弟という言葉を使うのは少し変な気がしますが一番先に出たのは私です。家を出て、バラバラになっても三つ子という少し珍しくそして強い繋がりをずっと大切にしていきたいと思えます。実は三人だけで酒を飲む日を楽しみにしている一番上の兄です。



【贈りたい相手】

父

【贈り主】

私

北村 愛茄さん

(鹿児島県・大口明光学園高等学校 17歳)

私の父は誰に対しても優しく笑顔が素敵な自慢の父。去年父と母は離婚した。それにより学校行事には呼ばなくなった。でも本当は来て欲しい。私は現在高校三年生。今年で卒業するが、その日は父にも来て欲しい。感謝の気持ちも込めて三月三日待っています。



【贈りたい相手】

備北バスの運転手のみなさん

【贈り主】

利用者のとある高校生

耕田 美桜さん

(岡山県・岡山県立高梁城南高等学校 16歳)

私は今年の春からバスで通学しています。朝が苦手な私はバス通学が密かな楽しみです。降りる時、運転手の方が「ありがとう」と大きな声で言ってくれます。何気ない一言ですが私にとって「今日も頑張ろう」と思える魔法の言葉です。私も大きな声で今日も頑張る!!!

誕

【贈りたい相手】

大好きなパパ

【贈り主】

娘の結愛

坂藤 結愛さん

(北海道・北海道旭川市明成高等学校 16歳)

私がパパと一緒に過ごしたのは約3年。私はパパと過ごした日々を覚えていない。パパだと認識していた頃の記憶がない。パパの温もりを知らない。「誕」には喜びと嘘の意味があるんだって。パパは私が生まれて、どっちの意味を持っていたのか教えて下さい。

舞

【贈りたい相手】

キャプテン

【贈り主】

私

中村 天音さん

(静岡県・第一学院高等学校浜松キャンパス 17歳)

私の親友はフットサルのキャプテン。人との調和を大切にし音楽に舞うように私達を癒し、いつも楽しませてくれる存在。大会で緊張している後輩を元気付け、明るく振る舞う事で周りを笑顔にさせる。音楽療法士になりたい貴女を、今度は私が鼓舞してあげたい。

笑

【贈りたい相手】

中学生の時の部顧問

【贈り主】

平賀未来

平賀 未来さん

(岩手県・岩手県立花巻南高等学校 17歳)

中学校を卒業する少し前に手紙で、泣き虫を卒業しなさいと先生に言われてから何があっても笑うように努力してきましたが、今年の夏、東北大会で惜しくも負けてしまい、引退しました。先生のおかげで続けてくれた部活動、最後に流した涙は許してくれますか。

佳作



【贈りたい相手】

父

【贈り主】

娘

福田 妃咲 さん

(静岡県・静岡県立掛川西高等学校 15歳)

何年か前の日、私は肩たたき券をあげた。父の誕生日だったから。そして数年後、父は変色してボロボロな肩たたき券を渡してきた。私は持つてくれていたことに、驚きと嬉しさを感じた。父の肩は岩のように固かった。仕事お疲れ様。券がなくても毎日たたくよ。



【贈りたい相手】

お父さん

【贈り主】

佳菜子

宮崎 佳菜子 さん

(福岡県・福岡県立折尾高等学校 17歳)

私はよく父と買い物に行く。私は父と腕を組んで歩きたいので腕を組もうとする。すると父は嬉しそうに笑うのだが腕を組ませてくれない。ねえお父さん、私はいつかお嫁に行くよ。その時くらいは腕を組んで歩いてくれるよね。約束して下さい。



大學生・一般部門受賞者

山口 康介 さん

(大阪府・会社員)

調

この漢字をあなたに贈ります。

母

息子

私がLGBTを打ち明けた時、「ええやん」と微笑んだ母。私には秘密で図書館に通いながら必死にLGBT関連の本を読み、私がどうすれば生きやすいかを「調べて」くれていた母。「調」は私にとってあなたの愛が詰まった漢字です。

受賞コメント

私には運良く「母」という理解者が居ました。ですが、もし周囲に自分の存在を否定する人しかいなければ、どうなっていたのだろう。逆に、気付かぬうちに私自身が他者を傷つけてしまっていたら・・・。自分の置かれた環境に感謝しつつも、様々な「もしも」を考えるのが恐ろしいです。

言葉は他者を励ます事もできれば、傷つける事もある。言葉と共に生きる責任の重さを、今回の入賞が改めて私に気づかせてくれました。

遅ればせながら、このような貴重な体験を与えていただき、心より感謝いたします。

審査員からのコメント

「祝」!! 絆大賞おめでとございます。

母が強し!! 優し!! 愛し!! お腹を痛めて産んだ我が子をいつも近くで見ている感じだったのでしょね。苦悩する子どもを自分の呼吸のように感じようすれば我が子が生きやすいかを「調」べてくれていた。これはもう母親の純粹な「愛」でしかないです!!

「調」には、とどのう、とどのえる、準備ができる、仲良くなる、やわらぐ、の意味があります。言葉に神経が行き届くとそうなるのです。「調子はどう!」「好調だよ!!」「絶好調!!」そんな会話から「調和」が生まれるのですね。(ゴルゴ松本)

四方 孝さん

(神奈川県・会社員)

紐

この漢字をあなたに贈ります。

妻

夫

狭い玄関先で新たな門出に向け
た真ッさらな靴紐。永年の勤め
を労う家内からの細やかなエー
ルに胸が詰った。ありがとう、
もう暫く踏んばるよ、君と君か
らの大切な靴紐のためにもね。

「ちょっとまってて
靴紐変えてあげる」
と突然家内から・・
定年退職を迎える朝

より

受賞コメント

近頃文字を書く習慣が少なくなった私ですが当コンテストは定年を迎えた時の心象を一心に描いた作品です。毎度コンテスト結果は【厳選なる審査の結果残念ながら…】がいつも通りの運び。

そんな中家内から【なんか届いてたよ】の先に大きな茶封筒。なんと照れくさい妻への心象作品の入選通知に久々の満面苦笑い。年甲斐もなく表彰式に向けて胸中ドキドキ・ジタバタと妄想している毎日です。

私の願いは当コンテストがいつまでも続いて欲しいことです。漢字は日本人にとって大切な文化、一文字にも幾許もの深い思い・絆が込められていることを改めて振りかえり、切なくも愛おしい出会いを頂けたことにお礼申し上げます。ありがとうございます。

審査員からのコメント

60歳の定年、今となっては少し早いかも知れませんが、いずれにしてもいつかは訪れる定年、今までご苦労さまでした。そのことを一番よく知っているのは奥さんですね。ちよっとした心配り、暖かい家庭を二人で作ってこられたのですね。哲学者・西田幾多郎はこう言っています。「余の妻よりよき妻は多かるべく、余の友よりよき友は多かるべし。しかし余の妻は余の妻にて、余の友は余の友なり」（高坂節三）

受賞コメント

受賞できた言葉に、実際の自分がまだおいていません。

子どもの才能を伸ばすといいながら、仕事でつかれて帰ってきた私は子どもの相手を十分にはしてやれていません。今回の受賞で気を引きしめ、自分の言葉にうそのないよう、子どもを育てていきたいと思えます。まっすぐな息子のため、まっすぐな父親をめざす。これが受賞時に確認した気持ちであります。

審査員からのコメント

審査員賞おめでとうございます。

まず初めに、たいが君のパパに拍手を送りたいと思います。漢字という藝術美術、技術の中から、子どもを生かす術を見つけてくださいました。それこそ才能です。漢字は文字という絵なので、見方、とらえ方で感じ方が違います。三千年以上の歴史を生きぬいてきた生き証人なのです。「閉」の中の「才」は芽、草木の芽。ママとパパが愛と優しさで大事に育てていけば「才能は開花」します。子どもの素材を財産として楽しく、美しく、笑顔で歩んで下さい。誰もが天賦の才を備えています。

(ゴルゴ松本)

関 恵子 さん

(長野県・学校図書館指導員)

め	に	八	担	し	た	た	実	を	ん	が	生	
で	成	年	に	た	め	め		を	名	は	子	ま
と	長	が	感	。	ら	ら		名	前	は	を	れ
う	し	過	じ	大	い	し		に	につ	美	見	た
・	て	ぎ	た	き	、	「		ける	け	し	て	ば
真	く	、	ら	く	」	実		る	る	と	、	か
実	れ	実	し	な	」	の		の	を	い	お	り
子	ま	に	と	っ	」	字	を	を	う	母	の	
。	し	心	。	て	」	に	買	を	字	さ	我	
	た	の	そ	そ	」	決						
	。	美	し	の	」	め						
	結	し	了	字	」	ま						
	婚	い	二	を	」							
	お	娘	十	買	」							

この漢字をあなたに贈ります。

娘

母



受賞コメント

職場の机の上に、このコンテストの2018年度の作品集を置いていました。

3年生の担任の先生が見つけ、クラス全員で挑戦してみよう！ということになりました。

「よし！」と私も乗ったわけです。漢字は苦手ですが、作文は好きな私、小学生には負けたくない、とがんばりました。

テーマは、このころにずっと心の中を占めていた長女のこととすぐに決め、内容もこれ以外には思いつきませんでした。

まだ照れくさくて娘はもろろん、誰にもこのコンテストのことは話していません。

でも、心の中にずっとあった気持ちを知らない人に伝えてみた、それはなんとも不思議なうれしい感覚です。

すばらしい機会をくださり、皆様に感謝申し上げます。

審査員からのコメント

審査員賞おめでとうございます。

「実」に面白い話ですね。生まれた我が子を見てためらい、名前を変えらるとは。

「美」から「実」どちらも素敵な漢字です。名前は「命」に魂を入れる行いです。

「命名」!! 周りから呼ばれ続け自己紹介に使います。つまり名前も「言霊」なのです。

名は体を表す!! その為には継続は力なりで続けることです。お母さんの「実」行力が未来を確実に実現させ娘さんの真実の姿になりました。実の話、「実」の元の実は「實」です。

貫けば実るようになっていくのです。実るほど頭を垂れる稲穂かな。(ゴルゴ松本)

渡邊 誠二さん

(福岡県・パート)

教	た	う	言	か	た	正	多	ら	も	祭
え	け	私	い	本	ね		か	か	ち	り
て	れ	の	、	当	と		当	っ	や	の
く	ど	背	10	の	私		の	た	を	夜
れ	、	中	円	幸	。母		幸	お	買	、
た	ま	を	を	せ	は		せ	つ	っ	露
母	っ	押	返	は	、		は	り	た	店
で	と	し	し	来	正		、	が	。も	で
し	う	た	に	ない	直		人	10	も	お
た	な	だ	店	の	な		に	円		
。で	な	っ	へ	よ	人	し				
	な	だ	戻	と	に					
	な	っ	る		し					
	な	だ	よ							
	な	っ								
	な	だ								
	な	っ								
	な	だ								

この漢字をあなたに贈ります。

亡き母



息子

より

受賞コメント

このような賞をいただき、驚きとともに、有難い気持ちでいっぱいです。

母の教えの通り、およそ40年間に渡る社会人生活において、お金のことに關しては、1円だろうが、1セントだろうが、おろそかにせず、クリーンであることを、常に心がけてきました。

母は61歳で亡くなりました。私は今、母の歳を越えて生きています。

それは、孝行など何もしなかった私のせめてもの親孝行かなと思っています。

そんな中での、このたびのこの受賞。大きな親孝行となりました。

うれしいばかりです。

審査員からのコメント

審査員賞おめでとうございます。

「正」63歳になる息子さんが今でも思い出す、亡き母との出来事。

いくつになっても母と子の絆が過去と未来を継ぎ続けて今も「愛の形」として生きている事に感動します。

母「正直な人にしか本当の幸せは来ないよ。」その通りだと思えます。世界中の人々に伝えたい言葉です。嘘や偽りがない事。素直で正しい事。正直の頭に神宿る。

正直は一生の宝。正直者が馬鹿を見ない星になれ!!

(ゴルゴ松本)

背

【贈りたい相手】

孫娘

【贈り主】

祖父

阿部 嘉夫 さん

(茨城県・会社員)

一緒に歩いて「じいたん、疲れた」って言い出すとじいたんは本当はうれしんだ。なぜかというとお前をおんぶできるからだ。お前のちいさな重さと暖かさが背中じわくと伝わってくると幸せなんだ。「重いのに？」重さが背中を幸せにすることもあるんだよ。

撫

【贈りたい相手】

娘(小夜)

【贈り主】

母

井上 朝香 さん

(教員)

あなたの髪を撫でると「もっとヨシヨシして」とねだった。「寝なさい。ヨシヨシは終わり。」と言うと泣いたね。私の背を軽く超えた今、小さなあなたを撫でて癒されていたのは私だったと気づいたの。手から心に流れるぬくもり。今はあなたのうさぎを撫でてよ。

似

【贈りたい相手】

天国のお父さん

【贈り主】

梶野先生

梶野 かおり さん

(愛知県・学校図書館司書)

小学生の頃、お父さんの仕事が忙しすぎて全然行事に来てもらえなかったから、絶対先生にはなるもんかと反抗してたけど、気づけば「先生」と呼ばれていました。唐小のみんなと話すのが楽しいと思う私は、やっぱりお父さんに似ているのかなと今では少し嬉しいよ。

夢

【贈りたい相手】

がんばりやの祐紀くん

【贈り主】

今もがんばってる先生

川嶋 真由美 さん
(滋賀県・教員)

あなたは、「小学校の先生になりたい。」と、中学生時代に思い、これまで一生懸命勉強し、四年前夢が叶った。そして、今年はじめての異動で私のある小学校へ。その上、同じ学年の担任。十九年前に教えた子と一緒に働けるなんて、私は本当に幸せ。ありがとう。

倍

【贈りたい相手】

4才の娘たち

【贈り主】

母

小林 千恵子 さん
(岐阜県・自営業)

「双子は一気に済む」と聞いて、イメージしていたのは双子葉類の発芽。水やりは一度に終わる。そして心構えゼロの育児が始まった。何でも別々、作業は二倍。例えるなら、単子葉類×二つ。でも喜びも二倍だった。母は、どんな花が咲くのか楽しみにしています。

押

【贈りたい相手】

夫

【贈り主】

妻 有美

小松崎 有美 さん
(埼玉県・主婦)

車椅子の私。プロポーズしてくれたのはあなたでした。一緒になりたい。だけど怖い。断ろうかやめようか。止まる、進む、戻る。気持ちも身体もそんな感じ。だけど僕が車椅子を押すから、君は僕の背中を押してくれて。そんな優しさありがとう。

瞳

【贈りたい相手】

亡妻

【贈り主】

夫

谷本 良裕 さん

(徳島県)

初孫(史桜)が私を見るととき、その焦点は少しだけ私の後方に合っている。赤ん坊は、まだよく見えてないからと言う人もいるが、私には分かる。史桜は、見えている。私と一緒に、私の後ろから自分に笑いかけるきみを見つめているのだ。史桜の瞳はきみのものだ。

星

【贈りたい相手】

父

【贈り主】

娘

中村 実千代 さん

(栃木県)

夜半に目覚め、そばに母が居ないことに気づいて号泣する私を、ひよいと持ち上げ肩に乗せ、夜の街を散歩した。「七つ星だぞ、綺麗だろう」と優しく教えるあなたの頭に小さな手を載せて空を仰いだ。あの時見上げた無数の星はすべて、あなたの愛のかげらだったわ。

円

【贈りたい相手】

3歳の息子

【贈り主】

パパ

船浪 理史 さん

(東京都・会社員)

お店屋さんごっこでコーヒーを「二千円になります」と売ってくれる息子。ああ美味しいと飲み干せば「二千五百円のお返しです」と言うので思わず笑った。笑顔のお札に「円」の字を。お釣りは貯金しておくから、「円」の意味がわかった頃に返してあげよう。

添

【贈りたい相手】

父へ

【贈り主】

息子

見澤 禎夫 さん

(埼玉県・会社員)

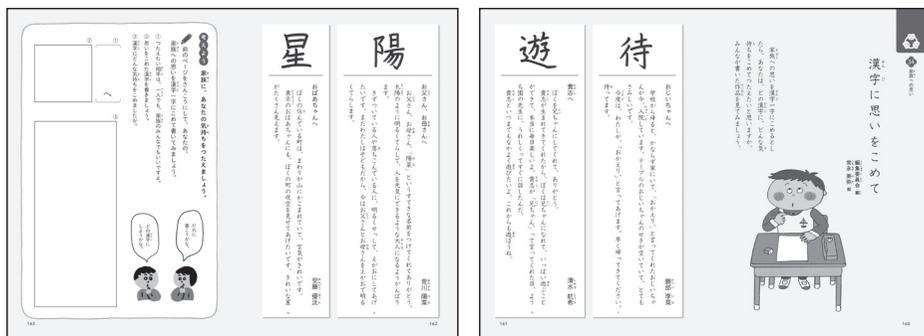
競争が大事だと言いつづけた父。だけど父は悩んだ僕に、困っている患者に、いつだって耳を傾けた。こうして見事に40年間無欠勤。そうか。父の言うキョウソウって「今日、添う」だったんだね。

コンテストは広がりを見せ、 「学校教育」にも採用

“誰かに贈る漢字を選ぶ” その時間は、
漢字そのものの奥深さに触れられるとともに、
自分の大切な人との関係を見つめ直し、
自分自身と向き合うことにもつながります。

その点が高く評価され、
学校教育の題材として取り上げられるようになりました。

今後、「大切な人へ漢字を贈る」ということが、
私たちにとってより身近な習慣になる日も
近いかもしれません。



●「どうとく3 きみが いちばん ひかるとき」(光村図書出版)

応募要項

応募期間 2020年6月1日(月)~2020年9月25日(金)消印有効

発表 2021年1月下旬(予定)
受賞作品は、応募者氏名などとともにコンテストサイト等にて発表する予定です。

応募テーマ 「贈りたい漢字とメッセージ(※120字以内)」
あなたが伝えたい気持ちを表す漢字(一文字)とメッセージをお寄せください。

応募部門 ①小学生部門 ②中学生部門 ③高校生部門 ④大学生・一般部門

応募方法 ■団体での応募 応募者全員分の応募用紙をまとめ、「団体名」「団体担当者氏名」「住所・電話番号(会場番号)」「応募枚数」を添えて下記応募先へ郵送してください。応募用紙はコンテストサイトにあります。参加人数分をコピーしてお使いください。

※抽選で団体応募プレゼントが当たります。

抽選は応募団体単位で行い、プレゼントは当選団体の応募人数分をお送りいたします。当選団体の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

■個人での応募 【Web】コンテストサイト(下記URL)にある応募フォームを利用してください。
【郵送】所定の応募用紙、もしくはコンテストサイトよりダウンロードした応募用紙を利用して、下記応募先へ郵送してください。また、応募用紙取得が困難な方は、必要事項記載のうえハガキでの応募も可能です。

応募の際の注意事項 ・メッセージは120字以内に限り、これを超える応募作品につきましては審査対象外となります。
・応募いただいた作品は返却できません。

応募先 ■団体での応募 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地
(公財)日本漢字能力検定協会 「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」係
※コンテストサイトにある「団体応募用返信ラベル」をご利用ください。切手不要でそのまま投函いただけます。

■個人での応募 URL <https://www.kanken.or.jp/kanjicontest2020/>

審査 主催者および審査員が、本コンテストの開催趣旨に照らし総合的に審査します。
入賞者には審査後に受賞の内定を通知いたします。

審査員 (2019年度) 審査員長 橋本五郎 審査員 ゴルゴ松本 やすみりえ 華雪 高坂節三
(読売新聞特別編集委員) (お笑い芸人) (川柳作家) (書家) (日本漢字能力検定協会 代表理事)

表彰 絆大賞(各部門1点)..... 賞状・副賞(5万円相当)
日本漢字能力検定協会賞(各部門1点)..... 賞状・副賞(3万円相当)
審査員賞(各部門3点)..... 賞状・副賞(1万円相当)
佳作(各部門10点)..... 賞状・副賞(5千円相当)
副賞:図書カードなど

表彰式 2021年3月(予定)

表彰式会場 漢検 漢字博物館・図書館(漢字ミュージアム)

第1回から第6回までの過去の受賞作品は、コンテストサイトからご覧になれます。

また、各回の受賞作品集もご自由にダウンロードできます。

漢検 漢字コンテスト 受賞作品

検索



「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」 2019年度 受賞作品集

2020年 6月1日 第1版第1刷発行

編者 公益財団法人 日本漢字能力検定協会
発行者 高坂 節三
印刷所 大日本印刷株式会社
発行所 公益財団法人 日本漢字能力検定協会
(住所) 〒605 - 0074
京都市東山区祇園町南側 551 番地
(TEL) 075 - 757 - 8600
(FAX) 075 - 532 - 1110
(ホームページ URL) <https://www.kanken.or.jp>

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

「漢検」は登録商標です。

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

あなたへ



わたしより

今、あなたに贈りたい漢字コンテスト
2019年度

受賞作品集

「漢検」は登録商標です。